



必ず来る その日のために 避難訓練

▽生徒部△



震度 階級	人の体感・行動	固定していない 家具の状況	屋外の状況	耐震性の低い 木造建物	斜面等
震度7		ほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	補強されているブロック塀も破損するものがある。	傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 	がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。
震度6強	立っていられず、はわないと動けない。飛ばされることもある。 	ほとんどが移動し、倒れるものが増える。 	補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。 	傾くものや、倒れるものが増える。 	
震度6弱	立っていることが困難になる。 	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することもある。 大半が移動し、倒れるものもある。 	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することもある。 	倒れるものもある。 	がけ崩れや地すべりが発生することがある。

5月31日、本年度1回目の避難訓練が行われました。高知工業高校の建つ、潮江地区は地震の際40分程度で津波の浸水が始まるといわれています。また、地震が起これば街は真っ暗です。ただ、指示通りに逃げるのではなく、これまでに学んだ地震の知識をもとに校内の危険箇所発見や避難方法を見直す機会にもなるよう計画されています。避難集合場所や通行不可能な通路、敷地内液状化など、毎回違う状況を設定して行っています。

どこにいても、どんな時でも、速報が聞こえたら身を守る「シェイクアウト」の動作、これが基本です。「まず低く、頭を守り、動かない」が基本。身の守り方、的確な判断、迅速な行動など、生徒だけでなく、先生も一緒に訓練を行いました。